

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実 施 事 業	事務事業名 北海道難病連運営事業助成金
----------------------	----------------------------

区分	番号	名 称						
章	1	やさしさと共生するまち						
	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる						
節	1	市民の主体的な健康づくり意識の確立						
	1	健康づくり運動の推進						
小分類	1	健康づくり情報と機会の充実						
主要な施策	3	健康づくり情報と機会の充実						
事務事業番号	002	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4b084;">事務事業コード</td> <td>12113002</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業開始年度</td> <td>平成 9 年度</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業終了年度</td> <td>平成 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	12113002	事業開始年度	平成 9 年度	事業終了年度	平成 年度
事務事業コード	12113002	事業開始年度	平成 9 年度	事業終了年度	平成 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	北海道難病連運営事業助成金
------	------	------------	---------------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>財団法人 北海道難病連に対し、難病患者の社会的自立活動を推進するため、助成を行う。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道内における難病患者と家族の育成援助 ・ 患者や家族の療育指導及び相談活動 ・ 潜在患者の発見と専門医療への結びつきのための検診・相談会などの開催 ・ 難病についての調査研究と難病問題の社会啓蒙 ・ 病気についての正しい知識の普及啓蒙のための機関紙の発行
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>難病患者の社会的自立活動を推進するため、難病各団体の育成、医療、福祉及び生活全般についての相談に応じて療育指導を行う。 また広く道民に対し、難病問題の社会的啓蒙と難病についての正しい知識の普及啓蒙を行うことにより、難病患者と家族の福祉の増進を図っている。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実 績	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標	26年度 目 標
成果 指標	相談援助人数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,248	/	/	/	/
	医療公演会の開催	回	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	22	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	53	53	53	53	53	159
合 計			53	53	53	53	53	159
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	10	10			
		嘱 託 員	千円	5	5			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		15	15			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 難病患者の社会的自立活動を推進するため、難病各団体の育成、医療、福祉及び生活全般についての相談について応じて療育指導を行っており、また難病問題の社会的啓蒙と難病についての正しい知識の普及啓発を行い、難病患者と家族の福祉の増進を図っている。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 広く道民に対し、難病問題の社会的啓蒙と難病についての正しい知識の普及啓発を行うことにより、難病患者とその家族の福祉の増進を図っている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 継続的に、難病問題の社会的啓蒙と難病についての正しい知識の普及啓発を行うことにより、難病患者とその家族の福祉の増進を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ この財団法人の運営には、北海道や他市町村も助成している。また助成金の額は人口一人当たり1円となっているので、これ以上の削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	難病患者及びその家族の社会的自立や精神的、身体的、経済的負担的の軽減を図るための活動に対する助成金交付であることから、今後継続的な支援をしていく。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）